

(1) ロボット太郎をバクダンといつしょに落として、コッパミジンにうちくだいてしまおうと、グランドアイの手下たちはクサリをきりました。

(2) ビューンとたんに太郎は、体の自由がきくようになりましたから「わッ、このままおちてバクダンがハレツしたらたいへんだ。ロンロン、ボクはにげるよ」

(3) スイシュー バクダンをしばりつけてあるクサリをきつて、ヨコへとびました。バクダンは下へ

(4) ババーン バクダンは、下の岩山へおちてハレツしました。太郎はあぶないところを助かりました。

(5) ロンロンロン、ここはドコだろう。あ、川がながれています。よーしあの川についていけば、町や海の方にいけるだろう。ロンロン」しばらく川について

(6) 太郎は走りました。するとゆくてはガケになっています。「ロンロンロン、ちょうどいいや。山から町へザイモクをはこぶ自動車がきた。のせてもらおう」

(7) ヒュー ポイン 「ロンロン、これにのつていけば、ひとりでに町へいつてしまよ」太郎はチャッカリと

(8) トランクのうしろにのつています。何もしらないトランクのうんてん手は、車を町へ走らせていきました。太郎がうごくようになつたから、海のそばにいるガンマアの

(9) ムデンキに、太郎のうごきがはいってきます。ジジージー「おっ、太郎がうごくようになつた。今、山から町の方へ来ているぞ」ガンマアがよろこんでいると、このガンマアのすみかに

(10) ノソリノソリと近づいてくる一つ目の怪物デガール。「デガーデガー。ガンマアをひきさいてくれるぞ。デガー」果して：